大分工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	特別活動

科目基礎情報

科目番号	R04G116	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 0
開設学科	一般科目	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	0
教科書/教材	K-SEC情報モラル教育教材，K-SEC専門分野別教材		
担当教員	東木 雅彦,北川 友美子,池田 昌弘,福村 浩亨		

到達目標

1. 相手の立場に応じて円滑なコミュニケーションをとることができる.
2. 情報収集，論理的な思考といった課題解決のためのスキルを実践することができる.
3. 社会の規範に沿って適切に行動できる.

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	相手の立場に応じて多様な方法で円滑なコミュニケーションをとることができる.	相手の立場に応じたコミュニケーションをとることができる.	相手の立場に応じたコミュニケーションをとることができない.
評価項目2	課題を発見し，適切なスキルを実践することができる.	課題解決のためのスキルを実践することができる.	課題解決のためのスキルを実践することができない.
評価項目3	社会の規範に沿って適切に行動できる.	クラスの規範に沿って適切に行動できる.	クラスの規範に沿って適切に行動できない.

学科の到達目標項目との関係

学習・教育目標 (A2)

教育方法等

概要	クラスの活動を通して，人間性の育成，社会性の涵養を行う. また，進路実現への準備を進めていく.
授業の進め方・方法	各期の初めに定めた特別活動計画にしたがい，さまざまな活動を行っていく.
注意点	

評価

授業の属性・履修上の区分

☐ アクティブラーニング	☐ ICT 利用	☐ 遠隔授業対応	☐ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	クラス委員の選出	
		2週	新入生オリエンテーション	
		3週	健康診断	
		4週	実験室見学	
		5週	教務説明会	
		6週	球技大会	
		7週	球技大会	
		8週	第1回数学到達度試験	
	2ndQ	9週	自転車安全教育	
		10週	情報モラル教育	
		11週	情報モラル教育	
		12週	担任扱い	
		13週	高専大会壮行会	
		14週	第2回数学到達度試験	
		15週	DVD視聴「性感染症について」	
		16週		
後期	3rdQ	1週	ポートフォリオ点検 クラス委員の選出	
		2週	担任扱い	
		3週	体育祭	
		4週	体育祭	
		5週	担任扱い	
		6週	第3回数学到達度試験	
		7週	防災訓練	
		8週	演劇鑑賞	
	4thQ	9週	キャリア教育	
		10週	技術者倫理	
		11週	技術者倫理	
		12週	TOEIC Bridge	
		13週	第4回数学到達度試験	
		14週	担任扱い	

		15週	終業式	
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	3	
				現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を説明できる。	3	
				技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	3	
				社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3	
				情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3	
				高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3	
				環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3	
				環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	
				国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	
				過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。	3	
				技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	3	
				技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	3	
				全ての人々が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	3	
				技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0